

まずは、申請できるか確認しましょう

※該当するものの□に✓してみましょう。すべてに✓が記入されていれば申請できます。

① 資格認定

- 令和8年1月1日から令和9年3月31日までに婚姻届が受理された夫婦
- 婚姻日時点の年齢が夫婦ともに39歳以下である
※誕生日前日に年をとります。
- 夫婦の令和7年中（6月までに申請する場合は令和6年中）の所得合算が500万円未満
※奨学金を支払った場合は控除することができます。

② 交付申請

- 夫婦ともに市の指定した講座などを受講した
※講座などとは、「ライフデザイン、プレコンセプションケア、共家事・子育て、妊娠に関する医療機関等への相談のいずれか
- 申請する対象の物件（家）と住所が同じ
- 夫婦ともに市税を滞納していない
※市税とは市民税、国民健康保険税、固定資産税、軽自動車税など
- 申請日から2年以上継続して東金市に居住する意思がある
- 夫婦ともに暴力団員等ではない
- 過去にこの制度に基づく補助金（結婚新生活支援事業補助金）の交付を受けていない
※他市町村を含む
- 他の公的制度による住宅に関する補助を受けていない
※住宅購入、リフォームの場合

つぎに、添付書類を用意しましょう

※該当するものの□に✓してみましよう。すべてに✓が記入されていれば申請できます。

① 資格認定

婚姻届受理証明書 または 戸籍謄（抄）本

※婚姻届の受理日、夫婦の氏名、夫婦の生年月日が記載されている必要があります。

※東金市に婚姻届を提出した場合、または婚姻後の本籍地が東金市の場合、同意書を提出することで、添付を省略することができます。

夫婦の令和8年（6月までに申請する場合は令和7年）の所得証明書 または 非課税証明書

※令和8年1月1日（6月までに申請する場合は令和7年1月1日）時点の住所が東金市の場合、同意書を提出することで、添付を省略することができます。

② 交付申請

住宅の賃貸借契約書、売買契約書、工事請負契約書などの契約書の写し

住宅手当支給証明書

※支給の有無にかかわらず、勤務先から証明を受けてください。個人事業主や無職の場合、申立書を添付してください

令和8年度中に補助対象経費を支払ったことが分かるもの

※領収書の写しなど

夫婦ともに市の指定した講座などを受講したことがわかるもの

※研修修了書、動画形式の場合はその動画のリンクがわかるもの、など

夫婦の住民票、市税に滞納がないことの証明書

※同意書を提出することで、添付を省略することができます。

誓約書（市で様式を用意してあります。）

さいごに、申請書を記入しましょう

① 資格認定

□添付書類などを見ながら赤い枠内をすべて、記入する

別記

第1号様式（第6条第1項）

東金市結婚新生活支援事業補助金資格認定申請書

年 月 日

（宛先）東金市長

申請者 住所
氏名
電話番号
メールアドレス

東金市結婚新生活支援事業補助金の資格認定を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

		申請者	配偶者
新婚世帯	ふりがな		
	氏名		
	生年月日	年 月 日	年 月 日
	年齢（婚姻時）	歳	歳
所得額 注 奨学金返済額を控除して 得た額	円	円	
婚姻年月日	年 月 日		
本籍地（東金市の場合）注2	千葉県東金市		
婚姻届の受理地注2	<input type="checkbox"/> 東金市である <input type="checkbox"/> 東金市ではない		

注2 別記第2号様式を提出する場合のみ記入すること。

添付書類

- 1 婚姻を証明する書類（戸籍謄本又は婚姻届受理証明書）注3
- 2 新婚世帯の所得証明書又は非課税証明書 注3
- 3 貸与型奨学金の返済額が分かる書類（貸与型奨学金を返済している場合に限る。）
- 4 その他市長が必要と認める書類

注3 別記第2号様式を提出する場合省略することができる。

② 交付申請

□ 「申請者」、「1 新婚世帯について」を記入する

第4号様式（第7条第1項）

東金市結婚新生活支援事業補助金交付申請書

年 月 日

（宛先）東金市長

申請者 住所
氏名
電話番号
メールアドレス

東金市結婚新生活支援事業補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1 新婚世帯について

		申請者	配偶者
新婚世帯	ふりがな		
	氏名		
勤務先からの住宅手当の受給の有無		注 該当する項目にレ点を付してください。	
		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
講座等の実施の有無		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 補助対象経費について

住居費 （購入・新築の場合）	契約締結年月日	年 月 日
	支払期間	年 月 日から 年 月 日まで
	支払済額(A)	円
住居費 （賃貸の場合）	契約締結年月日	年 月 日
	支払期間	年 月 日から 年 月 日まで
	賃料(B)	月額 円
	共益費(C)	月額 円
	賃料負担額(D) = (B)+(C) × 支払済月数	月額 円 × カ月 = 円
その他住居費(E)	敷金 円	

②交付申請（住宅を購入した場合）

契約書に記載の契約日を「契約締結年月日」に記入する

ローンなどを支払った期間を「支払期間」に記入する

令和 8 年 4 月 1 日以降に払った対象金額を「支払済額」に記入する

2 補助対象経費について

住居費 (購入・新築の 場合)	契約締結年月日	年 月 日
	支払期間	年 月 日から 年 月 日まで
	支払済額(A)	円

住宅手当支給証明書に記載の住宅手当の金額を「住宅手当」に記入する

住居費から控除 する額	住宅手当(F)	月額 円× カ月 = 円
----------------	---------	-----------------

引っ越し業者に支払った引越費用がある場合、引越日を「引越しを行った日」、支払った額を「支払済額」に記入する

引越費用	引越しを行った日	年 月 日
	支払済額(H)	円

支払済額(A+H)から住宅手当額を引いた額を「合計」に記入する

合計(I)	(A)+(D)+(E)+(G)+(H) - (F)	円
-------	---------------------------	---

資格認定証明書に記載の上限額を「上限額」に記入する

上限額(J)	円
30万円(夫婦共に29歳以下の場合は60万円)	

東金市での交付を受けた金額があれば「以前に交付を受けた補助金の額の合計額」に記入する

以前に交付を受けた補助金の額の合計額(K)	円
-----------------------	---

「上限額」から「以前に交付を受けた補助金の額の合計額」を差し引いた額と、「合計」を比べて低い方を記入する

※記入する際、1000円未満は切り捨ててください。

交付申請額 注 (I)と(J)を比べ、低い方を記入 注 以前に補助金の交付を受けた申請者については(J)から(K)を控除して得た額と(I)を比べ、低い方を記入 注 1,000円未満切捨て	円
--	---

②交付申請（賃貸の場合）

契約書に記載の契約日を「契約締結年月日」に記入する

何月分の家賃か「支払期間」に記入する

※4月の月末に払った5分家賃であれば令和8年4月1日から令和8年4月30日まで

契約書に記載の賃料、共益費を「賃料」、「共益費」に記入する

「賃料」、「共益費」の合計額と、対象の月数を掛け、その金額を「賃料負担額」に記入する

住居費 (賃貸の場合)	契約締結年月日	年	月	日		
	支払期間	年	月	日から 年	月	日まで
	賃料(B)	月額		円		
	共益費(C)	月額		円		
	賃料負担額(D) = (B)+(C) × 支払済月数	月額	円 ×	ヵ月	=	円

敷金、礼金、仲介手数料、日割り賃料、日割り共益費がある場合、それぞれ記入する

	その他住居費(E)	敷金	円
	(敷金、礼金、仲介手数料、日割り賃料及び日割共益費)	礼金	円
		仲介手数料	円
		日割り賃料 (月分)	円
		日割共益費 (月分)	円
		小計 (E)	円

住宅手当支給証明書に記載の住宅手当の金額を「住宅手当」に記入する

住居費から控除する額	住宅手当(F)	月額	円 ×	ヵ月	=	円
------------	---------	----	-----	----	---	---

引っ越し業者に支払った引越費用がある場合、引越日を「引越しを行った日」、支払った額を「支払済額」に記入する

引越費用	引越しを行った日	年	月	日
	支払済額(H)			円

「賃料負担額」と「その他住居費」の小計と引越し費用の「支払済額」を足して、その額から「住宅手当」を引いた額を「合計」に記入する

合計(I)	(A)+(D)+(E)+(G)+(H) - (F)			円
-------	---------------------------	--	--	---

資格認定証明書に記載の上限額を「上限額」に記入する

上限額(J) 30万円(夫婦共に29歳以下の場合は60万円)	円
-----------------------------------	---

東金市での交付を受けた金額があれば「以前に交付を受けた補助金の額の合計額」に記入する

以前に交付を受けた補助金の額の合計額(K)	円
-----------------------	---

「上限額」から「以前に交付を受けた補助金の額の合計額」を差し引いた額と、「合計」を比べて低い方を記入する

※記入する際、1000円未満は切り捨ててください。

交付申請額 注 (I)と(J)を比べ、低い方を記入 注 以前に補助金の交付を受けた申請者については(J)から(K)を控除して得た額と(I)を比べ、低い方を記入 注 1,000円未満切捨て	円
--	---

②交付申請（リフォームの場合）

契約書に記載の契約日を「契約締結年月日」に記入する

支払った額を「支払済額」に記入する

リフォーム費用	契約締結年月日	年 月 日
	支払済額(G)	円

引っ越し業者に支払った引越費用がある場合、引越日を「引越しを行った日」、支払った額を「支払済額」に記入する

引越費用	引越しを行った日	年 月 日
	支払済額(H)	円

「支払済額」の合計を「合計」に記入する

合計(I)	$(A)+(D)+(E)+(G)+(H) - (F)$	円
-------	-----------------------------	---

資格認定証明書に記載の上限額を「上限額」に記入する

上限額(J)	30万円（夫婦共に29歳以下の場合は60万円）	円
--------	-------------------------	---

東金市での交付を受けた金額があれば、「以前に交付を受けた補助金の額の合計額」に記入する

以前に交付を受けた補助金の額の合計額(K)	円
-----------------------	---

「上限額」から「以前に交付を受けた補助金の額の合計額」を差し引いた額と、「合計」を比べて低い方を記入する

※記入する際、1000円未満は切り捨ててください。

交付申請額 注 (I)と(J)を比べ、低い方を記入 注 以前に補助金の交付を受けた申請者については(J)から(K)を控除して得た額と(I)を比べ、低い方を記入 注 1,000円未満切り捨て	円
---	---